

「履歴書」及び「教育研究業績書」の記入要領

1 「履歴書」(様式A)

① 「学歴」

- ・高等学校入学からの学歴を記載して下さい。
- ・大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合は、最終学歴を記入すること。
- ・学位については、付記された専攻分野の名称も併記すること。

② 「職歴」

- ・全ての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入し、職名、地位等についても明記すること。
- ・各職歴については在籍期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入すること。
- ・研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入すること。
- ・過去における教員組織審査（課程認定委員会における教員審査を含む）において教員の資格があると認められた場合は、同欄に当該認定に係る審査年、大学名、職名及び担当授業科目の名称（大学院は判定結果を含む）を記入すること。

③ 「学会及び社会における活動等」

- ・提出時において所属する学会の名称を記入すること。
- ・社会における活動については、関連する活動はわかりやすくまとめて簡潔に記載すること。

④ 「賞罰」

- ・学会や出版社からの表彰、職務上の表彰や懲戒処分等を記入すること。

2 「教育研究業績書」(様式B)

この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び研究業績等に関する事項等（発行又は発表が予定されているものを含む）について作成してください。

① 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」

- ・「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を以下の例を参考に、過去から現在まで簡潔に記入すること。

<「教育上の能力に関する事項」の例>

A-1 教育方法の実践例

- 大学・短期大学・大学院などの高等教育機関において、授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入。

A-2 作成した教科書、教材

- 学生の理解を図るために作成し、また、授業や研修指導等において活用している教科書や教材を記入。(後の「著書、学術論文等の名称」との重複も可。その場合は「(再掲)」と表記すること)

A-3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価

- 学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入。

A-4 実務家教員についての特記事項

- 教育上の能力に関することで教育機関以外の場(企業など)での実務経験があれば記入してください。

A-5 その他

- 学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上述に該当しないものを記入。

<「職務上の実績に関する事項」の例>

B-1 資格・免許

- 現在、所有している資格・免許を記入してください。
教員免許や国家資格を有している場合は免許登録番号も記入ください。

B-2 特許等

- 特許、実用新案等で担当予定科目に関連するもの

B-3 実務家教員についての特記事項

- 職務上の実績に関することで教育機関以外の場(企業など)での実務経験があれば記入してください。

B-4 その他

- 職務上の実績で上述に該当しないものを記入。

② 「著書、学術論文等の名称」

- ・「著書、学術論文等の名称」の項には、以下の点に留意の上、それぞれの区分ごとに。過去15年前くらいを目安に発表年月日の古いものから順に通し番号を付して記入すること。

C-1 (著書)

- 書名を記入すること。

C-2 (学術論文)

- 国際学会誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入すること。
学位論文についてはその旨を明記すること。また、作品・演奏・競技等についてはこの項目に記入すること。

C-3 (その他)

○学会発表、講演、依頼原稿、報告発表等を記入すること。

- ・「単著、共著の別」の項には、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入すること。
- ・「発行又は発表の年月」の項には、和暦で記入すること。
- ・「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項には、名称及び共著の場合は担当頁を記入してください。
- ・「概要」の項には、著書、学術論文等の概要について、それぞれの事項ごとに200字程度記入すること。その際、教職科目担当教員にあたっては、過去10年以内のものについて担当する全ての教職科目に関する内容を明記すること。また、共著の場合には本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を該当著書、学術論文等に記載された順に記入した上で、本人の氏名に下線を引くこと。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記すること。

3 「これまで担当した科目一覧」(様式C)

指定のフォーマットをご使用ください。

4 「教育に関する抱負」(様式D)


指定のフォーマットをご使用ください。

5 「研究に関する抱負」(様式E)

指定のフォーマットをご使用ください。

以上

履 歴 書

フリガナ 氏 名	コクサイ タロウ 国際 太郎	Ⓐ・女	
生年月日(年齢)	昭和・平成 ○○年 ○○月 ○○日生 (○○才)		
現住所	〒570-8555 大阪府守口市藤田町 6-21-57		
電話番号	06-6902-0791		
携帯電話	090-○○○○-○○○○		
E-mail	×××@oiu.jp		
通勤時間	約 ○ 時間 ○○ 分	扶養家族数 ○人	
学 歴 [学位(修士以上)を含む]			
年 月	事 項		
	(高等学校入学からの学歴を記載下さい。)		
昭和 ○年 ○月	○○高等学校 入学		
平成 ○年 ○月	○○高等学校 卒業		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部○○学科 入学		
平成 ○年 ○月	米国○○大学(留学) ～平成○年○月		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部○○学科 卒業		
平成 ○年 ○月	○○大学大学院○○学研究所○○学専攻博士課程前期課程 入学 (または修士課程)		
平成 ○年 ○月	○○大学大学院○○学研究所○○学専攻博士課程前期課程 修了 (または修士課程)		
平成 ○年 ○月	○○大学大学院○○学研究所○○学専攻博士課程後期課程 入学 (または博士課程)		
平成 ○年 ○月	○○大学大学院○○学研究所○○学専攻博士課程後期課程 修了 (または博士課程)		
学 位 [例: 博士(心理学・○○大学)]		取 得 年 月 日	
博士(○○学・○○大学)		平成10年3月	
職 歴			
年 月	事 項		
	【職歴】		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部 助手 ～平成○年○月		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部 専任講師 ～平成○年○月		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部 准教授 ～平成○年○月		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部 教授 ～平成○年○月		
平成 ○年 ○月	○○大学の在外研究員として米国□□大学へ留学 ～平成29年3月		
平成 ○年 ○月	○○大学○○学部 教授 ～現在に至る		
	【非常勤講師歴】		
平成 ○年 ○月	△△大学大学院 △△研究科 集中講義○○○担当 (○月○日～○月○日)		
令和 ○年 ○月	△△大学△△学部 ○○○担当 ～現在に至る		
	【過去の課程認定委員会における教員審査】		
平成 ○年 ○月	○○概論 (平成○○年度、○○大学 教授)		

学会及び社会における活動等

年	月	事	項
平成 ○年 ○月		【学会】	
平成 ○年 ○月		○○学会 会員（現在に至る）	
平成 ○年 ○月		△△研究会 会員（令和○年○月迄）	
令和 ○年 ○月		□□学会 幹事（現在に至る）	
		【社会における活動】	
平成 ○年 ○月		災害に伴うボランティア活動	
平成 ○年 ○月		○○県教員免許更新講習 講師	
平成 ○年 ○月		○○大学 平成○年度公開講座「○○○○」担当	
令和 ○年 ○月		○○主催 ○○講演会 講師	

賞 罰

年	月	事	項
		賞罰 なし	

令和 年 月 日

上記の通り相違ありません。

氏 名 国際 太郎



教 育 研 究 業 績 書

令和 年 月 日

氏名 国際 太郎



教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
A-1 教育方法の実践例 1. アクティブラーニングの実践 2. オンデマンド型授業の展開 3. ○○資格試験対策講座実施	平成○年○月 令和○年○月 令和○年○月	
A-2 作成した教科書、教材 1. ○○○○○○○○ 2. 3.	平成○年○月	単著 ○○出版 総ページ○○頁
A-3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価 1. 授業評価アンケート 科目：○○○○ 2. 3.	平成○年○月	学科平均が○点の中、○点の評価を得た。
A-4 実務家教員についての特記事項 1. 株式会社○○との産学協働事業 2.	平成○年○月～ 平成○年○月	
A-5 その他 1. ○○大学公式 SNS の運営 2. 3.	平成○年○月～ 現在に至る	

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
B-1 資格、免許 1. 中学校教諭1種免許状(〇〇) 2. 学芸員資格 3.	平成〇年〇月 平成〇年〇月	〇〇県教育委員会 平〇中1第〇〇号
B-2 特許等 1. 特になし 2. 3.		
B-3 実務家教員についての 特記事項 1. 2. 3.		
B-4 その他 1. (外部資金獲得状況) 〈研究代表者〉科学研究費補 助金 課題番号〇〇〇〇 研究課題「〇〇〇〇」(若手研 究) 2. 3.	平成〇年度～平 成〇年度	

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
C-1 (著書) 1. ○○○○○○○○ 2. ○○○○○○○○ 3 ○○○○○○○○	単著 共著 共著	平成○年○月 平成○年○月 平成○年○月	○○出版 総ページ○○頁 ○○書房 担当○頁～○頁 総ページ○○頁 ○○書院 担当○頁～○頁 総ページ○○頁	【再掲】 国際太郎、○○○○ ○○○○ (編)、○○○○、 <u>国際太郎</u> 、 ○○○○
C-2 (学術論文) 1. ×××××××× 2. ×××××××× 3. ××××××××	単著 共著 単著	平成○年○月 平成○年○月 平成○年○月 発行予定 (校正中)	○○学会 『○○○』○巻 ○頁～○頁 ○○大学 『○○○』○巻 ○頁～○頁 ○○協会 『○○○』○巻	共同研究につき本人担当部分抽出不可 ○○○○、○○○○、 <u>国際太郎</u>
C-3 (その他) 1. (学会発表) △△△△△△△ 2. (翻訳) △△△△△△△ 3.	共著 単著	令和○年○月	第○回○○学会 於○○大学	